

飯能西中だより



天覧山 1月増刊号

飯能市立飯能西中学校
学校だより
令和5年度 第10-2号
令和6年1月23日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立・共生

<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

みんなが一緒に生活していればいろいろなことがあります。けれども、これら一つ一つに真摯に向き合うことを通して、私たち一人一人がお互いに大切にされていることを実感し、家に帰った時には、元気よく「ただいま」と言えたらよくありませんか。生徒にとっても、先生にとっても、そんな学校でありたいと願います。

校長 中村 公一

今年は新年早々から能登半島地震や羽田空港航空機衝突事故をはじめとして様々な災害や事件、事故が起きており、世間では波乱に満ちた年明けを迎えることとなりました。このような中であっても、本校の生徒達は落ち着いた生活態度で3学期に臨んでくれています。しかし先週あたりから発熱を伴う体調不良者が増えてきているので、感染などが広がらないように手洗いや換気などを丁寧に行うよう指導しています。最近ではマスクを着用しない場面も増えてきていますので以前よりも飛沫が飛散しやすい環境とも言えます。油断しないように気をつけたいものです。

学校生活の様子を紹介します (1月)

飯能市の姉妹都市であるアメリカ合衆国ブレア市に向け中学生の親善訪問団の派遣が再開されました。今年は1月10日(水)から10日間の予定で出発しました。本校からは2年生の関根知奏さんが参加しました。



1月10日に自転車点検を行いました。



日頃から自転車のブレーキの効き具合やタイヤの空気圧をチェックするだけでなく、駐輪の際には必ず施錠しましょう。

1月10日(水)から給食が始まりました。ここ数年、コロナ禍における給食では全員が前を向いて食べるのが当たり前の習慣となっていました。今学期から班ごとに向き合って食べるスタイルに戻し始めています。会話が弾んで楽しそうにしている生徒がいる一方で、今までのスタイルに慣れてしまっているのが、顔を見られるのが恥ずかしいという生徒もいるようです。

2学年の学年行事を実施しました



1月18日(木)に2学年の学年行事を行いました。昨年はPTA活動において各学年ごとにPTA主催の学年行事を実施しましたが、現2年生の企画のみコロナウイルス感染症の影響で開催することが出来ませんでした。そこで改めて実施することとなりました。内容はヒポファミリークラブによる異なる言語や文化についての理解を深める体験的な授業でした。

第53代生徒会のスローガン

1月16日(火)の生徒朝会で、新生徒会本部のスローガンが発表されました。「全進 善進 前進」です。新本部役員はスローガンを考える際に校長室を訪れ、これから目指したい理想の学校について校長と一緒に考えました。これからの活躍を期待します。



今年もホッケーの授業が始まりました。専用のフィールドと違い学校のグラウンドは凹凸があるのでスティックを使ってボールをコントロールするのが難しいのですが、みんな熱心に取り組んでいました。



今学期も安心安全な給食を提供していきます。下のQRコードからご覧になれる動画で紹介している昨年5月31日の給食と、いつもお世話になっている調理員の皆さんです。この動画の中で作業しているのもこのメンバーです。



森林認証制度についての授業(1月16日(火))
冬季休業中に3年生が使用している机の天板を西川材で出来た天板に交換していただきました。この西川材のことや森林認証制度のことについて生徒達にも知ってもらうための授業を行いました。



約350人分の肉じゃがができるまで

本校の調理場で給食の肉じゃがと鯖の竜田揚げなどを作っている様子を動画でご覧いただくことが出来ます。普段なかなか見ることが出来ない映像です。スマホやタブレットなどのカメラで右のQRコードを読み込んでご覧ください。



YouTube



Instagram



TikTok